

15 連発式 輪ゴム銃

(2 号機)

特徴

- ・ 木工で作る 15 連発式の輪ゴム銃
- ・ 使用輪ゴム：No.16 サイズ
- ・ 姿が気に入っていた P213 / (OGG CRAFT'S) を真似て、15 連発式で設計し直したもの。
- ・ ラチェットシアは自動リセット式

寸法 380 長×153 縦×幅 21

材料 桧、PP

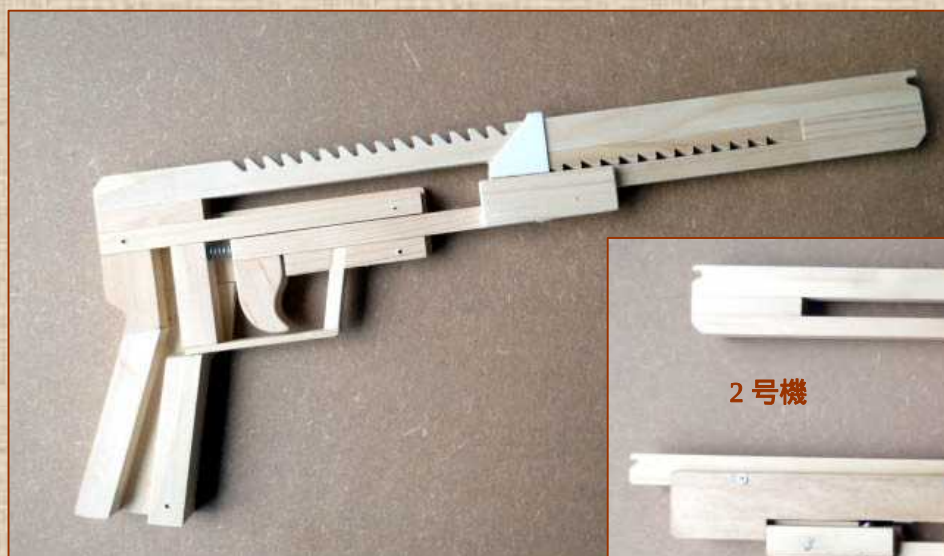
塗装 水性ウレタン透明クリア & けやき

費用 約 700 円 (塗装除く)

完成：2012 年 4 月



↑ 荒削り状態の構成部品。一番上の輪ゴムを掛けるノコ歯の深さは、ゴムを掛け易くする為に左側が 6mm、右側が 5mm の深さになるように傾斜をつけて加工している。



↑ 内部の様子、結構精巧に組み立てている。グリップ関係以外は全て分解できます。やはりこのグリップの形は握り易く操作し易い。

↓ 1 号機 (茶色グリップ) と比べると、質感が断然違う。塗装に失敗しなければ見栄えはもっと上がったのに・・・。こうして見比べると 1 号機の無骨感は否めない。



裏話

- ・ 簡単に作れて面白いので、2 号機はお気に入りモデル P213 SQUARE (OGG CRAFT'S 様) 10 連発式のデザインを真似て、15 連発に UP して作ることにした。
- ・ 1 号機の“ラチェットシアの自動リセット機構”は、押えゴムを交換し易く改善している。
- ・ グリップ部だけは 12t 桧材から 6t に切り出して作ろうと始めたが、5.5t になってしまい、諦めて市販の 6t 桧材に落ち着いた。50mm 程度の中なので簡単に切り出せると試みたが甘かった。
- ・ ソーガイドを 8 分目ゼットソーが使えるように改造してあるので、切断面が 1 号機の時とは全然違う。こんな小さい部品を作るには大正解の改造だったと実感する。これからも何かと役に立ちそう。
- ・ ノコ歯の加工は、ジグソーを固定しバンドソーのような使い方をしたら精度よく加工できた。自分の道具ではこの方法がベストなのかも。この方法も色々使えるかもしれない。
- ・ 送りピッチは余裕を見て 8mm としたが、輪ゴムの伸ばし代：最大 150mm でも可能なので、ピッチ 7.5mm の 20 連発も同じ方法で作れそうだ。(6mm ピッチ 25 連発位が限界かも、5mm で 30 連発、挑戦したいが多分無理?)
- ・ 塗装段階でグリップまで透明クリアを塗ってしまい、あわててウレタンニス (ケヤキ) を塗り直したが手遅れ。それにしても滑りが悪くなったのにはガックリ、浸み込むからかも。1 号機のフレッシュアクリアの方がよかったかも。

15連発式 輪ゴム銃 2号機 (8mmピッチ)

